

2006年

2月4日(土)ー3月26日(日)

香芝市上山博物館

(奈良県香芝市藤山)

NIJYOSAN MUSEUM KASHIBA-CITY

平成一七年度企画展

小原・杉田・津田

大和五位堂鑄物師の展開

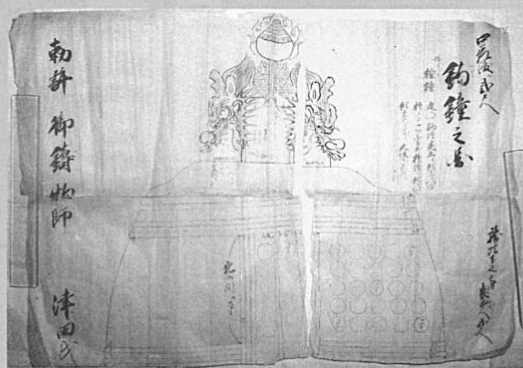


平成17年度冬季企画展

小原・杉田・津田

—大和五位堂鋳物師の展開—

香芝市五位堂は、かつて鋳物産業が栄えた地として広く知られるところである。鍋釜や農具、梵鐘などの作品は、損傷による廃棄や戦時中の供出や亡失などで残り少ない。さらに近年の産業構造の変化により、鋳物産業が盛んであったことさえ、人びとの脳裏から忘れ去られようとしている。このような状況を憂い、本市教育委員会(二上山博物館)では平成14年度から3ヶ年継続事業として、県内に残る五位堂鋳物師遺品文化財調査を実施した。本企画展は、これらの調査成果をもとに、五位堂鋳物師3家(小原・杉田・津田)の性格を明らかにし、またこの地で栄えた鋳物産業を広く周知する目的で開催する。



釣鐘之図 津田家文書



刑部少輔朱印状 享保15(1730)年 小原家文書

(五位堂鋳物師)

五位堂鋳物師は16世紀末から17世紀初頭に台頭してきた。初期を飾る話として「国家安康」で有名な慶長19(1614)年の京都方広寺大仏殿の梵鐘鋳造がある。鐘銘には、京都三条釜座の名護屋三昌が治工となっているが、その脇棟梁として各地の鋳物師11人が協力している。その中に五位堂の津田五郎兵衛が参加し「藤原求次周防少掾」を賜っている。五位堂で操業した鋳物師は『諸国鋳物師文化以前名前写』によると「葛下郡五位堂村 周防少掾居都宇陀大工 杉田六兵衛 大和大目高市大工 津田五郎兵衛 石見掾吉野大工 小原善次郎」の3名がみえる。3家には、真継家が発給した「鋳物師職許状」や「口宣案」、「蔵人所牒」など、鋳物師職を保障する文書が残されており、他の真継家配下の鋳物師と同じく、鍋釜や農具を製作するかたわら、各地へ出向いて梵鐘を鋳造していたと思われる。

主な展示品 出品総数180点(すべて一般初公開)

- 小原家文書(市指定文化財) ●津田家文書(市指定文化財)
- 杉田家鋳鉄燈籠、鋳造所関係資料

企画展記念講演会

3月5日(日) 14:00~16:00

(開場13時)

演題「大和五位堂鋳物師の展開」

講師 浦西 勉氏・奈良県教育委員会文化財保存課

■会場：香芝市ふたかみ文化センター 2階・第1~3会議室

定員：先着80名(事前申込み不要)

聴講料：無料(当日発行の博物館特別観覧券が必要です。)

金剛葛城地域博物館ネットワーク協議会 2005年度冬季展覧会

第6回企画展
琉球・沖縄
—ウチナーンチュの歩み—
会期:2005.12.10-3.26
水平社博物館
奈良県御所市柏原235-2
TEL.0745-62-5588 FAX.0745-64-2288

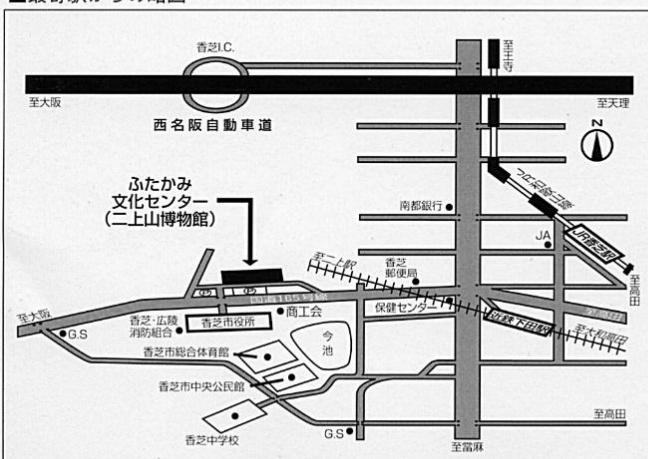
平成17年度冬季企画展
年代のものさし
—陶器の須恵器—
会期:2006.1.28-3.5
大阪府立近つ飛鳥博物館
大阪府南河内郡河南町大字東山299
TEL.0721-93-8321 FAX.0721-93-8325

*詳しくは、加盟各館までお問い合わせください。

入館割引券

冬季企画展「小原・杉田・津田—大和五位堂鋳物師の展開—」

■最寄駅からの略図



二上山博物館

NIJYŌSAN MUSEUM KASHIBA-CITY

〒639-0243
奈良県香芝市藤山一丁目17番17号
TEL.0745-77-1700 FAX.0745-77-1601
香芝市ふたかみ文化センター1F

- 開館時間 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日 毎週月曜日
- 観覧料 一般350円(250円)、高大学生200円(150円)、小中学生150円(100円)
※()内は20名以上の団体割引料金
- 交通 近鉄大阪線下田駅下車、徒歩約5分
JR和歌山線香芝駅下車、徒歩約8分
西名阪香芝I.C.から車で約15分 駐車場あり(無料)
- 会期中、本券1枚につき1名様限り、上記の団体割引料金を適用します。
- 他の団体割引等との併用はできません。
- 本券を切り離して、受付カウンターへ提示してください。

会期：平成18年2月4日(土)~同年3月26日(日)有効